

平成 30 年度
自己評価・学校関係者評価（島田北幼稚園）

教育目標	ころおおきくなあれ 個性を伸ばし感性を豊かに育む 挨拶や感謝の気持ちを感じ表現できる、基本的な生活習慣を身に付ける（人間形成の基礎）
------	--

※自己評価は 4 段階評定 自己総合評価及び学校関係者評価は ABC 評価にて評定

1. 教育目標について

評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	評価	総合評価	評価	評価理由
教育目標を理解し子ども達に指導することができた。	2	B	B	挨拶・基本的な生活習慣の子ども達への指導は、熱心に継続的に行われており、一定の成果が確認されます。一方で、個性・感性を伸ばす指導については、明確な指導方法に戸惑う教職員もあります。教育目標について、詳細を共有出来るようしたい。
子ども達が元気よく挨拶が出来るようあらゆる場面で指導した。	4			
明るく元気な子どもの育成に努めた。	4			
子ども達一人一人の特徴を観察し尊重することができた。	3			
毎日の活動で社会的な生活習慣を身に付ける為の指導は十分に行った。	3			

2. 教育計画について

指導計画作成にあたり、子どもの成長状況を把握し配慮している。	3	B	B	教職員の定着により、過去の計画に頼る傾向が伺えます。経験による状況対応や順応は評価できます。教育方針や保護者ニーズに沿った新たな教育内容を考えた計画が求められます。過去に囚われることの無い、教職員の発想を盛り込んだ計画を期待します。
指導計画作成には、園の教育方針が生かされている。	3			
指導計画の内容は、過去の計画に左右されず現実にマッチしている。	3			
指導計画には、教育内容に対する自身の考えを十分盛り込んで作成した。	3			
行事等の計画とその運営は適切であった。	3			
計画の変更は、状況により随時行えるよう順応性を考慮している。	4			

3. 教育活動について

子ども達に多くの体験をさせる為の工夫は十分に行った。	3	B	B	体験を中心とした教育内容は、楽しく実行されており好感が持てます。一方で、子どもの興味を促す内容や活動の目的を意識した事前準備は、計画段階での影響なのか不十分な要素が見えます。積極的な活動を行ない目標とする効果を得るようにしたい。
生活習慣の指導について、一人一人を観察し対応している。	3			
子どもの自主性に配慮し、押付の指導は行わない。	3			
子ども達の発達状況を把握している。	3			
子ども達が興味をもてるような活動内容を常に考え実践している。	3			
教育効果を高める為の事前準備は万全である。	2			

4. 保健・安全について

子どもの視診は、登園時及び降園時に必ず行っている。	4	B	A	安全管理に対する環境整備には、特別指摘することはありませんが、危機管理の対応について、やや不安を感じる教職員が見られます。不安解消の為に、今一度具体的な対応を確認し、万全を期すことが良いと考えます。生活習慣を中心とする指導は、継続しており一定の効果が見られます。
危険回避の為に危険個所の把握に努めている。	3			
安全管理について、年齢に応じた言葉や方法で指導を行った。	3			
うがい・手洗い等の基本的な生活習慣の習慣化が図れた。	3			
万一に備え、事故発生時の対応を確認している。	2			
自らも体調管理には十分注意している。	4			

5. 学級経営について

子どもの気持ちを理解し十分に遊びに係わった。いっしょに遊んだ	3	B	A	子ども達一人一人の個性に配慮し、積極的に接する姿が多く見られます。クラスのまとまりを意識したクラス運営は安心感を与え信頼されます。優しく丁寧な対応を心がけ、教職員としての品格向上をも期待したい。
クラスをまとめ全員が仲良く楽しく生活できるよう工夫している。	4			
子どもの気持ちに十分配慮し個人を尊重した指導を行っている。	3			
子ども達とのスキンシップは、一人一人全員に十分行っている。	3			
子どもの話をしっかり聞くよう心がけ実行している。	4			
教師としての品格を心がけた言葉や態度で子ども達に接している。	4			

6. 研修について

研修には常に自らのテーマを持って積極的に参加している。	2	C	B	研修参加に関する積極性が不十分です。日々の多忙な活動への対応を優先し保護者ニーズや社会状況の変化による課題への意識が希薄のように思います。より良い教育内容構築と教師としての技術向上の為自己研鑽されることを望みます。
研修に参加するのは楽しい。	3			
自らが進んで研修会を選択し参加することで自己研鑽に努めた。	2			
研修で得た内容が毎日の教育活動及び私生活に生かされた。	2			
今後研究したい課題やテーマがある。	3			

7. 保護者・地域との関りについて

子どもの成長について保護者との連携は十分に行っている。	3	B	B	キッズくらぶをはじめ、幼稚園を開放しての未就園児との関わりは積極的に行なわれています。特に保護者との意思疎通を意識した対応に努め、信頼を得ています。地域行事への参加は限定的で、各教職員は積極的な参加とは感じていないようです。
担当するクラスの保護者との意思疎通が十分に図れている。	3			
保護者のクレーム・相談等には園を代表する意識で誠実に対応している。	4			
現在の園と地域との関りは十分だと思う。	3			
地域の主催する行事には積極的に参加している。	2			
「キッズ・くらぶ」の内容は保護者ニーズに即したものであった。	3			

8. その他

自らが求める教師像に向かって努力した。	3	B	B	組織の一員としての意識は見られ、協力して幼稚園の質を高めようとしています。しかし、その内容を外部への発信方法を吟味して実行されることを望みます。職員は定着していますが、一方で慣れによる消極的な活動内容も見られ、マンネリ化防止を心がけた活動を期待します。
島田南学園（組織）の一員として協働することができた。	4			
私生活を含め常に教師としての自覚と責任を意識している。	3			
職務のマンネリ化防止に努めている。	2			
子どもに要求することは自らも実行している。	3			
備品・消耗品等の効率よい使用を考えて実行している。	3			

平成 31 年 3 月 23 日

当委員会は、提出された自己評価及び総合評価表等を基に 3 月 2 日に評価を行い、上記の通り報告致します。

学校法人 島田南学園 学校関係者評価委員会
委員長 町 淳子 